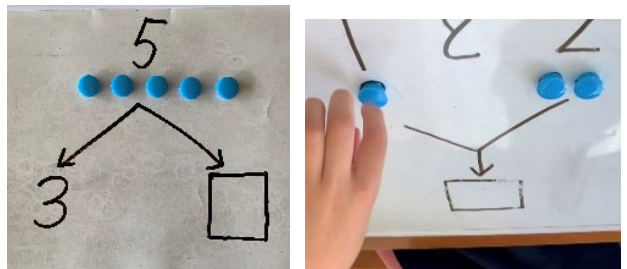


一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すことの指導 ～半具体物を操作する教材を使った事例～			
学部・教科	小学部・算数科	事例コード	2 2 2 1
学習グループの実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学部3学年（重複障がい学級・2名）</li> <li>これまで具体物の操作や指をさしながら物の数を数える学習、順序数の穴埋めなど10までの数について繰り返し学習してきた。普段から互いを意識し、学習の中で教え合うこともしばしばある。</li> </ul>		
単元(題材)名	『いくつといくつ』		
学習指導要領の内容	算数科／小学部2段階 A数と計算 ア 10までの数の数え方や表し方、構成に関わる数学的活動 (ア) ㉞、(イ) ㉟		
単元(題材)の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	<p>一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すことができる。 【Aア (ア) ㉞】</p>	<p>数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。【Aア (イ) ㉟】</p>	<p>数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとする。【小学部2段階A目標ウ】</p>
単元(題材)の計画	総時数 13時間 1 具体物の操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間 2 <u>半具体物の操作</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間 3 10までの数の合成・分解・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5時間 4 プリント学習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間		
指導の実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが意欲をもって学習に取り組めるようにするため、具体物は子どもの興味・関心のある食べ物や乗り物の模型を使った。</li> <li>具体物の操作→半具体物の操作→プリント学習の順で学習を進め、具体物・半具体物の操作の時間を十分に取ったことで、数の構成や合成・分解の意味を理解し自分の考えを表現する姿が見られるようになった。</li> <li>指を使ったり、プリントに丸を書いたりして教師の促しを受けながら根気強く学習に取り組んだ。</li> <li>自分からプリントを出し、次々に取り組む姿が見られるようになり、間違いもほとんどなくなった。</li> </ul>		



半具体物を操作する教材  
(左：分解、右：合成)



プリント教材  
(10までの数の分解)